

漁獲情報収集管理事業

金城敦*・甲斐哲也

漁業資源の適切な管理および利用を行うために、1989年から関係漁協よりセリデータの提供を受け、漁協ごとに異なるデータを水産海洋技術センター漁獲統計システムにより統一的な形式に変換する行程（標準化）を経て、データベースに収録してきた（図1）。

令和5（2023）年度にセリデータの提供を受けた漁協は32ヶ所であった。また同年度に登録されたデータは1,076,542件で、漁獲統計データベースに収録されたデータ数は約4,411万件（3月末時点）になった。

また、国が主導する漁協の販売管理システムと漁獲統計データベースの改修が実施された。

この改修は改正漁業法の施行による知事管理分の漁獲報告の義務化に伴う業務の効率化と、収集・蓄積したデータを資源評価等に利用可能なものにするため実施された。

前述の改修により、許可番号、出港及び入港日、操業海域、

尾数情報と所属漁協情報が追加され、解像度の高い情報を蓄積する事ができ、より実態に沿った水産資源の推計が可能となった。

パヤオ漁業に次ぐ、本県の主要な漁船漁業である「ソディカ漁業」（ソディカを対象とした漁業の総称）の漁獲情報をソディカ月報および年報の形で掲載（令和5年・6年漁期：12月～5月）している。

県内の水産関係団体および漁協については、メールでの送付も行っている。さらに、一部漁協に対しては、必要に応じて漁獲データを取りまとめた月報および年報の送付を行っている。

これまでに発行した「ソディカ月報および年報」、「漁海況情報」は、当センターホームページにおいて、公開しているので、参照されたい。

URL: <http://www.pref.okinawa.jp/fish/>

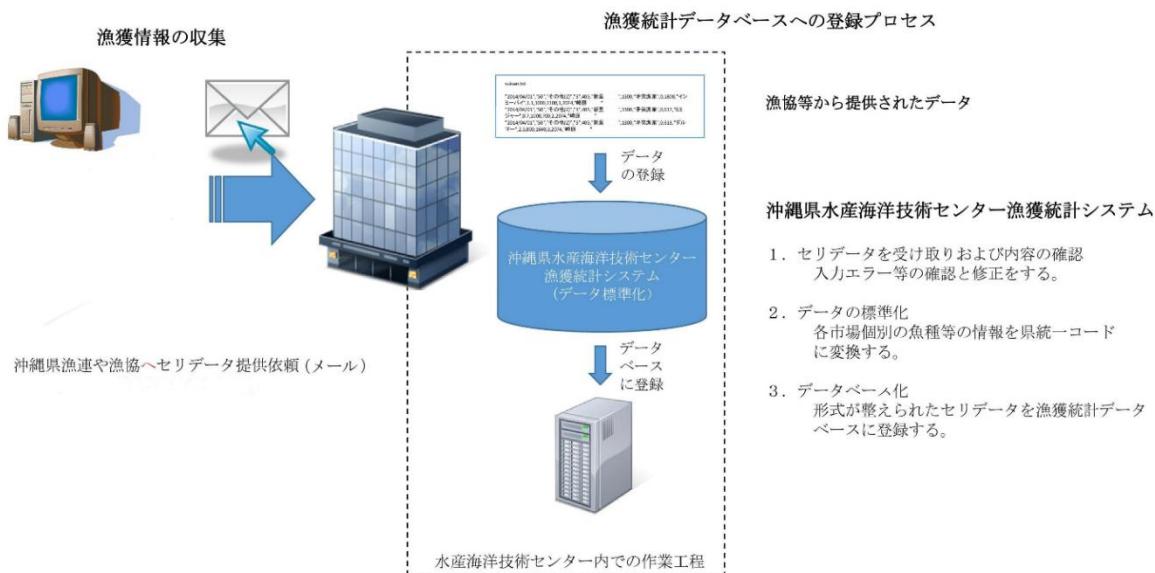


図1. 漁獲情報の収集と漁獲統計データベースへの登録のプロセス

*E-mail: 本所 nirai@pref.okinawa.lg.jp